

2021 試合規定

今大会は原則として当該年度の公認野球規則、および大会特別規定を適用して開催する。

- ・各チームは原則として予定試合開始の1時間前に集合する。
- ・エントリー表は当日提出してください。(ボーイズリーグ中日本ブロックHPに掲載)
- ・ベンチ入りは選手18名 監督1名 コーチ1名 スコアラ1名とし各チームボールボーイを2名準備する。
- ・ベンチは、トーナメント表の組み合わせの左側を 一塁側とする。
- ・試合開始30分前までにメンバー表を協議委員会に提出して審判員立会いの下で先攻・後攻を決める。
- ・投手の投球回数申告用紙(各投手それぞれに前の試合までの投球回数を記入すること)を提出する。
- ・試合前のシートノックは5分間とし時間は厳守し登録選手のみで行う。
- ・試合は原則として7イニング制とし、4回終了時点を持って成立(コールドゲーム)とする。
- ・雨天などやむを得ない事情で試合を中止する場合、コールドゲームは、両チームが攻撃を完了し成立とする。
- ・コールドゲーム宣告の時点での引き分けの場合、打ち切り時点におけるメンバー9人ずつによる抽選で次の試合に進出するチームを決める。
- ・また4回を満たさず試合が中止になった場合はサスペンデッドとして、後日大会本部が指定した会場、日時で続きを行う。
- ・得点差によるコールドは4回終了時点で10点差以上、また5回で7点差以上ついた場合に適用する。(決勝戦は5回で7点差以上)
- ・また7回を終了した時点で同点の場合は延長戦とするが、延長10回、もしくは10回を満たさなくても試合開始から2時間以上を経過した場合にはタイブレーク方式により延長を再開する。決勝戦に限り試合時間を2時間20分とする。
- ・タイブレークは延長11回(もしくは10回を満たさずに2時間以上を経過した場合はその次のイニング)から、1アウト満塁の状態で開催する。この場合、前のイニングの打撃を完了した選手の次の打者の選手が最初の打者となり、走者は1塁から順に前のイニングの最後から数えて3人の打者が勤める。(怪我などその他の理由での代打と代走は認める。)
- ・投手のノーヒットノーランは認めるが、完全試合は認めない。またタイブレークによる出塁した3人の選手は自責点扱いしない。
- ・打者はタイブレークにより出塁した3人の選手は出塁の記録は認めないが、盗塁(盗塁死を含む)得点、残塁は記録する。
- ・投手は同じ日に7イニング以上、また2日間連続(もしくはダブルヘッダーによる連投の場合も含む)10イニング以上の投球は禁ずる。また0/3~2/3イニングの端数についてはそれぞれの試合ごとに切り上げて1回の扱いとする。
- ・打者(次の打者も)・走者は危険防止のため必ず両耳に安全ガードを付けたヘルメットを装着すること。捕手も防護ヘルメットや所定の防具を装着すること。
- ・怪我などの理由により一時的に出場できない選手に対して「特別代走」を認める。この場合、その打者の最も近い打撃を終えた投手以外の選手を対象とする。
- ・監督・コーチは1試合につきマウンドへ行けるのは2回まで。(投手交代の場合は回数に数えない)3回以上マウンドに行ったら、その時点の投手は自動的に交代しなければいけない。また延長戦になった場合はそれ以前の回数に関係なく、3イニングごとに1回だけ投手のところへいくことは認める。
- ・試合終了後のグラウンド整備は両チームの選手が共同で協力し実施する。
- ・大会中の負傷または疾病に対して応急処置は施すが、それ以上の責任は負わない。

□ジャイアンツカップ予選のグラウンド経費について

① グラウンド使用料

- (1) 公営球場については、各自治体で決められている球場使用料とする。通常、石灰・砂等は常備されているが、常備されていない球場については別途相談。
- (2) 各チームの専用グラウンドについては、各支部料金／日とする。石灰・砂代等の費用については、グラウンド使用料に含むものとする。
- (3) 領収書は、公営球場は自治体の領収書、チーム専用グラウンドについてはチーム領収書を添付してください。

② 昼食代について

- (1) ブロック役員、各支部長、リトルシニア、ヤング、グラウンド責任者、審判等の個数分を用意してください。
- (2) 当日の配置人数については、木曜日までにブロックより連絡します。
- (3) 金額については、税込 800 円／個 以内とする。
- (4) 領収書は、購入した店舗の領収書を添付してください。

③ 飲物代・茶菓子・備品代等について

ブロック役員、各支部長、リトルシニア、ヤング、グラウンド責任者、審判等の飲物・茶菓子の用意をしてください。

- (1) 飲み物はコロナ対策としてペットボトルを準備ください。
- (2) 費用については、下記の一律金額とする。
一律 1,000 円／試合（2 試合の場合は 2000 円/日）
- (3) 領収書を準備しますのでサインをお願いします。

④ コロナ対策等消毒用費用について

- (1) コロナウイルス感染拡大防止策として、消毒用アルコール等を用意してください。
- (2) 費用については、2,000 円／日とする。
- (3) 領収書を準備しますのでサインをお願いします。

⑤ その他について

- (1) 高校グラウンド借用等御礼のための手土産等については、店舗の領収書を添付してください。
- (2) グラウンド終了後速やかに、グラウンド担当経費明細報告書と領収書を提出してください。
- (3) 書類を送られる方は、レターパック等で送ってください。レターパック等費用も請求に含めて 頂いて結構です。
その場合、領収書を添付してください。

⑥ グラウンド当番費用郵送先

〒491-0838 愛知県一宮市猿海道 2-12-18

中日本ブロック会計部長 脇田 勝

□その他ジャイアンツカップ予選取り決め事項

- ① 役員及び審判配置は別途連絡
- ② 試合球について
 - (1) ジャイアンツカップ事務局にて支給します
 - (2) 各グラウンドに試合数×6 個を準備します。
 - (3) ファールボールでの紛失、ホームランボールについては事務局にて補充します。
- ③ 熱中症対策特別規定
 - (1) 球場 責任者の判断により、(2 回・4 回・6 回裏終了時) 5 分間のインターバルを設ける
 - (2) 上記のインターバルを設けた場合は試合時間にカウントしない
- ④ 大会開催運営に関するガイドライン (新型コロナウイルス感染拡大防止対策)

ジャイアンツカップ予選を行うにあたり以下の事項、対策を講じる事を運営の基本とし、各連盟 通達及び各地域の状況、各会場、球場の対策方針に従い行うこととする。

尚 大会運営役員、審判、参加チームスタッフ、選手、保護者の全ての者に於いて 当日の検温 (37.5 度以下) 並び体調に異常が無いか確認をし 各自出来る限り 2 m以上の距離を取り マスクを着用し 密集しないようにする。

参加チームは各連盟の名簿を提出し責任者は体調不良者がいないことを確認する
- ⑤ 大会運営方法
 - (1) 運営 (球場) 責任者、及び運営役員 3 名
放送 1~2 名 記録 1 名 グラウンド整備等補助者 各チーム 5 名程度
 - (2) 試合間隔は試合時間含め 3 時間を取り 密にならないよう運営する。
 - (4) 試合ベンチはグラウンド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い 密度が高くないように設営する。
 - (5) チーム到着時、帰途時の挨拶は「無し」とし メンバー表等の提出のみとする。
 - (6) 試合前のメンバー表交換の集合は 球場責任者、審判、監督、主将で行う。
 - (7) 接待は「無し」とし 飲料 (個別ペットボトル) 、弁当等は 1 ヶ所に準備し各自で取りに行くこととする。
 - (8) 本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。
 - (9) 試合会場入りは 1 時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出する。
* 大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。
 - (10) 雨天時の開催有無は当日 7 : 00 までに判断し各連盟に電話連絡します。
- ⑦ 試合に関して
 - (1) 打席、守備につくとき以外はベンチ内に於いてはマスク着用とする。
 - (2) 指示、掛け声は飛沫が飛ばないように大声を出さず行う。
 - (3) 試合開始、終了の挨拶は声を出さず 礼のみで行う。
 - (4) 捕手は防具を自ら着用し 補助者を使わない。

(5) 審判はマスク着用し 判定コールは大声を出さずジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。

* マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなる為 時間を取るなど配慮。

⑧ 参加チームについて

- (1) 会場入りするチーム構成はベンチ入りの監督、コーチ、マネージャー、選手 18 名以内
- (2) 保護者の応援はマスク着用し観客席にて 2 m 以上の間隔を取り、声を出さず見学のみとする。
- (3) チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等禁止とする。
- (4) チーム役員、監督等の接待も禁止とする。
- (5) 昼食を取る場合 対面にならないよう 2 m 以上の間隔を取り会話を控え最低限の時間で済ませる。
- (6) 他チームとの必要外の接触は避ける。
- (7) 大会会場へは 1 時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに帰途に着くこと。
- (8) 選手移動については全ての車両に於いて こまめな換気を行い密閉、密集、密接にならないよう注意する。
- (9) 大会（試合）に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、
消毒液など備品は各チームで準備し、選手、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。
- (10) エントリー表は各チーム試合当日持参し本部に提出する。

以上が大会のガイドラインであります。感染のリスクがゼロではありません。

各チーム参加選手、保護者にはよく説明を行い同意、承諾の中で参加、活動をお願いいたします。

またチームからの強制参加及び活動は禁止致します。

尚、大会開催中に於いても感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は大会及び試合を打ち切ることがあります。